



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 出光興産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5019 URL <https://www.idss.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木藤 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部IR室長 (氏名) 関根 宗宏 TEL 03-3213-9307
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,015,717	△32.8	3,129	△94.8	△25,823	—	△32,115	—
2020年3月期第2四半期	3,000,031	41.9	60,301	△54.9	53,062	△65.5	45,347	△56.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △36,795百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 34,537百万円 (△62.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△108.04	—
2020年3月期第2四半期	150.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,714,496	1,138,143	29.3
2020年3月期	3,886,938	1,200,564	29.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,090,103百万円 2020年3月期 1,150,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	80.00	—	80.00	160.00
2021年3月期	—	60.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300,000	△28.9	35,000	—	△2,000	—	△20,000	—	△67.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	297,864,718株	2020年3月期	297,864,718株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	589,878株	2020年3月期	603,227株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	297,266,948株	2020年3月期2Q	301,663,873株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 5「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の国内の主な石油製品需要は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車、航空機向けを中心に大幅な減少となりました。

ドバイ原油価格は、春先以降新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な景気落ち込み懸念を受けて下落基調で推移しました。4月末以降は主要国で経済活動が徐々に再開したことにより価格は持ち直し基調に転じ、8月までは底堅く推移しましたが、新型コロナウイルス感染再拡大等を受けて9月に下落に転じました。この結果、4～9月の平均価格では前年同期比27.5ドル/バレル下落の36.7ドル/バレルとなりました。

(原油価格、為替レートの状況)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	
			増減額	増減率
ドバイ原油 (ドル/バレル)	64.3	36.7	△27.5	△42.8%
為替レート (円/ドル)	108.6	106.9	△1.7	△1.6%

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、原油価格が下落したことなどにより、2兆157億円（前年同期比△32.8%）となりました。

営業損益は、燃料油セグメントにおける在庫評価影響や販売数量の減少などにより、31億円（前年同期比△94.8%）となりました。

営業外損益は、持分法投資損失の増加などにより、290億円（前年同期比△217億円）の損失となりました。その結果、経常損益は△258億円（前年同期比△789億円）となりました。

特別損益は、在外子会社における損失や投資有価証券評価損の計上などにより、72億円（前年同期比△230億円）の損失となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を合わせた税金費用は、税金等調整前四半期純損益の減少により△22億円（前年同期比△234億円）となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純損益は△321億円（前年同期比△775億円）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内子会社が3月であるため、当第2四半期連結累計期間の業績については、海外子会社は2020年1月～6月期、国内子会社は2020年4月～9月期について記載しています。

セグメント別売上高

(単位：億円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	
			増減額	増減率
燃料油	23,688	15,707	△7,982	△33.7%
基礎化学品	2,343	1,440	△903	△38.5%
高機能材	1,960	1,554	△407	△20.7%
電力・再生可能エネルギー	643	622	△22	△3.4%
資源	1,356	823	△533	△39.3%
その他	10	12	+3	+26.4%
合計	30,000	20,157	△9,843	△32.8%

セグメント別利益又は損失(△) (営業損益+持分法投資損益)

(単位: 億円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	
			増減額	増減率
燃料油 (在庫評価影響除き)	△55 (154)	△303 (273)	△248 (+119)	— (+77.3%)
基礎化学品	143	△20	△163	—
高機能材	137	62	△75	△54.8%
電力・再生可能エネルギー	4	△5	△9	—
資源	264	36	△228	△86.3%
その他	2	5	+3	+113.8%
調整額	△8	△26	△18	—
合計 (在庫評価影響除き)	487 (697)	△251 (326)	△739 (△371)	— (△53.3%)

[燃料油セグメント]

燃料油セグメントの売上高は、原油価格の下落に加えて、新型コロナウイルス感染拡大の影響による販売数量の減少などにより1兆5,707億円(前年同期比△33.7%)となりました。セグメント損益は、製品マージン拡大や精製用燃料費の減少などの増益要因を、在庫評価影響の拡大や販売数量減少などの減益要因が上回り△303億円(前年同期比△248億円)となりました。

[基礎化学品セグメント]

基礎化学品セグメントの売上高は、通関ナフサ価格が下落したことなどにより1,440億円(前年同期比△38.5%)となりました。セグメント損益は、スチレンモノマーやパラキシレン等製品マージンの縮小などにより△20億円(前年同期比△163億円)となりました。

[高機能材セグメント]

高機能材セグメントの売上高は、1,554億円(前年同期比△20.7%)となり、セグメント損益は、潤滑油事業における販売数量が減少したことなどにより62億円(前年同期比△54.8%)となりました。

[電力・再生可能エネルギーセグメント]

電力・再生可能エネルギーセグメントの売上高は、622億円(前年同期比△3.4%)となりました。セグメント損益は、ソーラー事業における販売数量の減少と販売単価の下落などにより△5億円(前年同期比△9億円)となりました。

[資源セグメント]

(石油開発事業・地熱事業)

石油開発事業は、原油価格の下落や出荷の時期ずれによる販売数量の減少などにより、売上高は123億円(前年同期比△52.9%)となり、セグメント損益は、25億円(前年同期比△71.3%)となりました。

(石炭事業・その他事業)

石炭事業・その他事業の売上高は、701億円(前年同期比△36.1%)となりました。セグメント損益は、石炭価格の下落などにより11億円(前年同期比△93.6%)となりました。

以上の結果、資源セグメント合計の売上高は、823億円(前年同期比△39.3%)、セグメント損益は36億円(前年同期比△86.3%)となりました。

[その他セグメント]

その他セグメントの売上高は、12億円(前年同期比+26.4%)となり、セグメント損益は5億円(前年同期比+113.8%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減
流動資産	15,503	13,795	△1,708
固定資産	23,366	23,350	△16
資産合計	38,869	37,145	△1,724
流動負債	16,484	15,317	△1,167
固定負債	10,380	10,446	+67
負債合計	26,864	25,764	△1,100
純資産合計	12,006	11,381	△624
負債純資産合計	38,869	37,145	△1,724

ア. 資産の部

資産合計は、原油価格の下落などによる売掛債権及びびたな卸資産の減少等により、3兆7,145億円（前期末比△1,724億円）となりました。

イ. 負債の部

負債合計は、原油価格の下落などによる買掛金の減少等により、2兆5,764億円（前期末比△1,100億円）となりました。

ウ. 純資産の部

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失321億円の計上や配当金の支払い238億円などにより、1兆1,381億円（前期末比△624億円）となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末の29.6%から29.3%へ0.2ポイント低下しました。

② キャッシュ・フローに関する説明
要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	△531	483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545	△917
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,084	219
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	△50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16	△265
現金及び現金同等物の期首残高	907	1,293
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	488	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,379	1,028

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、1,028億円となり、前期末に比べ、265億円減少しました。その主な要因は次のとおりです。

ア. 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純損失を計上したものの、減価償却費や原油の輸入価格下落に伴う運転資本の減少などの資金増加要因により、483億円の収入となりました。

イ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

主として製油所設備の維持更新投資や米国におけるメガソーラー発電事業への投資などによる有形固定資産の取得(704億円)により、917億円の支出となりました。

ウ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

運転資金需要に対応するための短期借入金による資金調達が増加したことなどにより219億円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2020年5月26日公表の予想を修正しました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	132,247	105,011
受取手形及び売掛金	593,730	444,429
たな卸資産	622,895	588,089
その他	203,186	243,185
貸倒引当金	△1,770	△1,219
流動資産合計	1,550,288	1,379,496
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	267,954	263,433
土地	811,627	810,271
その他(純額)	398,540	417,011
有形固定資産合計	1,478,122	1,490,716
無形固定資産		
のれん	167,104	163,764
その他	165,003	162,585
無形固定資産合計	332,108	326,350
投資その他の資産		
投資有価証券	244,007	222,358
その他	284,127	297,580
貸倒引当金	△1,715	△2,004
投資その他の資産合計	526,418	517,933
固定資産合計	2,336,649	2,335,000
資産合計	3,886,938	3,714,496
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	475,664	387,965
短期借入金	339,600	438,351
コマーシャル・ペーパー	315,965	243,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払金	343,611	298,514
未払法人税等	11,564	9,714
賞与引当金	9,912	9,363
その他	152,099	124,794
流動負債合計	1,648,420	1,531,703
固定負債		
社債	80,000	100,000
長期借入金	568,133	550,688
退職給付に係る負債	67,542	64,602
修繕引当金	64,138	83,811
資産除去債務	62,130	60,250
その他	196,008	185,297
固定負債合計	1,037,953	1,044,649
負債合計	2,686,374	2,576,353

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	168,351	168,351
資本剰余金	461,636	461,636
利益剰余金	408,064	351,997
自己株式	△2,042	△1,993
株主資本合計	1,036,010	979,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,524	3,381
繰延ヘッジ損益	△7,667	△6,071
土地再評価差額金	157,834	157,957
為替換算調整勘定	△34,370	△42,134
退職給付に係る調整累計額	△3,321	△3,022
その他の包括利益累計額合計	113,999	110,111
非支配株主持分	50,555	48,040
純資産合計	1,200,564	1,138,143
負債純資産合計	3,886,938	3,714,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,000,031	2,015,717
売上原価	2,740,326	1,818,813
売上総利益	259,704	196,903
販売費及び一般管理費	199,403	193,774
営業利益	60,301	3,129
営業外収益		
受取利息	5,003	5,178
受取配当金	2,532	1,912
為替差益	1,676	—
その他	3,681	3,055
営業外収益合計	12,893	10,146
営業外費用		
支払利息	6,422	6,272
持分法による投資損失	11,578	28,264
為替差損	—	2,562
その他	2,130	1,999
営業外費用合計	20,132	39,099
経常利益又は経常損失(△)	53,062	△25,823
特別利益		
固定資産売却益	1,967	1,325
段階取得に係る差益	17,215	—
撤去費用戻入益	—	549
その他	2,048	591
特別利益合計	21,231	2,465
特別損失		
減損損失	95	0
固定資産売却損	29	252
固定資産除却損	4,206	2,053
投資有価証券評価損	—	3,080
在外子会社における送金詐欺損失	—	3,814
その他	1,098	505
特別損失合計	5,429	9,707
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,864	△33,064
法人税等	21,261	△2,186
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,603	△30,878
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,255	1,237
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	45,347	△32,115

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,603	△30,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,537	1,807
繰延ヘッジ損益	△222	2,049
為替換算調整勘定	△8,353	△9,274
退職給付に係る調整額	△138	346
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,815	△847
その他の包括利益合計	△13,066	△5,917
四半期包括利益	34,537	△36,795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,993	△36,127
非支配株主に係る四半期包括利益	1,543	△668

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,864	△33,064
減価償却費	47,701	47,710
減損損失	95	0
のれん償却額	4,843	4,788
段階取得に係る差益	△17,215	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△21,121	△3,781
修繕引当金の増減額(△は減少)	13,377	19,672
受取利息及び受取配当金	△7,536	△7,090
支払利息	6,422	6,272
持分法による投資損益(△は益)	11,578	28,264
固定資産売却損益(△は益)	△1,937	△1,073
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,080
売上債権の増減額(△は増加)	102,289	146,242
たな卸資産の増減額(△は増加)	67,761	32,542
仕入債務の増減額(△は減少)	△121,395	△84,730
未払金の増減額(△は減少)	△93,703	△32,816
未収入金の増減額(△は増加)	△29,804	△20,458
その他	△47,215	△57,086
小計	△16,995	48,473
利息及び配当金の受取額	6,775	7,723
利息の支払額	△6,488	△5,884
法人税等の支払額	△36,377	△2,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53,085	48,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△45,512	△70,418
有形固定資産の売却による収入	2,686	2,355
無形固定資産の取得による支出	△4,549	△5,386
投資有価証券の取得による支出	△1,201	△2,081
長期貸付けによる支出	△61	△7
長期貸付金の回収による収入	424	290
短期貸付金の増減額(△は増加)	616	△846
その他	△6,865	△15,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,462	△91,712

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	126,857	114,264
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	29,999	△72,965
長期借入れによる収入	11,704	18,746
長期借入金の返済による支出	△32,521	△48,601
社債の発行による収入	30,000	40,000
社債の償還による支出	△20,000	—
自己株式の取得による支出	△1,142	△8
自己株式の売却による収入	2	57
配当金の支払額	△9,875	△23,827
非支配株主への配当金の支払額	△2,513	△1,846
新規連結子会社の旧株主に対する配当金の支払額	△21,646	—
その他	△2,443	△3,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,421	21,891
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,451	△4,981
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,578	△26,507
現金及び現金同等物の期首残高	90,690	129,335
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	48,793	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	137,905	102,828

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(会計上の見積りについて)

前連結会計年度の連結財務諸表の作成に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響は、前連結会計年度末後、概ね1年程度で収束すると想定して見積り及び仮定を設定しました。当第2四半期連結累計期間において、この想定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 4
	燃料油	基礎 化学品	高機能材	電力・再 生可能エ ネルギー	資源	計				
売上高										
外部顧客への売上高	2,368,827	234,256	196,041	64,334	135,617	2,999,077	954	3,000,031	—	3,000,031
セグメント間の内部売 上高又は振替高	14,258	13,039	11,370	2,639	439	41,747	456	42,204	△42,204	—
売上高計	2,383,086	247,295	207,411	66,973	136,057	3,040,824	1,411	3,042,235	△42,204	3,000,031
営業利益	9,358	13,398	12,934	477	26,018	62,187	248	62,435	△2,134	60,301
持分法投資利益又は 損失(△)	△14,892	861	764	△30	426	△12,870	—	△12,870	1,291	△11,578
セグメント利益又は 損失(△)	△5,533	14,259	13,699	446	26,445	49,317	248	49,565	△843	48,722

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険事業、グループ内サービス事業等を含んでいます。

2. 営業利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. 持分法投資利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法適用会社に係るものです。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と持分法による投資損失とそれぞれ調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2019年4月1日付で昭和シェル石油株式会社(以下「昭和シェル」)の全株式を取得したことに伴い、同日付で「燃料油」セグメントにおいて128,551百万円、「電力・再生可能エネルギー」セグメントにおいて42,850百万円のれんが増加しています。

3. セグメント資産の重要な変動

昭和シェルとの経営統合を主な要因として、当社グループ総資産は1,106,369百万円増加し、3,996,677百万円となりました。主に「燃料油」セグメントで増加しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 4
	燃料油	基礎 化学品	高機能材	電力・再 生可能エ ネルギー	資源	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,570,665	143,961	155,390	62,174	82,319	2,014,511	1,206	2,015,717	—	2,015,717
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8,241	9,557	8,395	690	401	27,286	549	27,835	△27,835	—
売上高計	1,578,906	153,518	163,786	62,864	82,721	2,041,797	1,755	2,043,553	△27,835	2,015,717
営業利益又は 損失(△)	△1,557	△2,444	6,516	△316	2,971	5,168	530	5,699	△2,569	3,129
持分法投資利益又は 損失(△)	△28,788	409	△328	△163	652	△28,218	—	△28,218	△45	△28,264
セグメント利益又は 損失(△)	△30,345	△2,035	6,187	△480	3,623	△23,050	530	△22,519	△2,615	△25,135

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険事業、グループ内サービス事業等を含んでいます。

2. 営業利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. 持分法投資利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法適用会社に係るものです。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と持分法による投資損失とそれぞれ調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。

(重要な後発事象)

当社は、2020年10月20日開催の取締役会において、当社連結子会社である出光スノーレ石油開発株式会社のノルウェー現地法人である出光ペトロリアムノルゲが保有する、ノルウェー領バレンツ海鉞区権益の一部をLundin Energy Norway AS社に譲渡することを決議し、売買契約を締結しました。譲渡金額は125百万米ドルとなる見込みです。

なお、本鉞区権益一部譲渡の実行日はノルウェー政府の承認が前提となっており、実行日が未定のため当連結会計年度の損益に与える影響額は現時点では未確定です。